柏崎市地域高年齢者就業機会確保計画

令和 3 年 5 月 20 日

新潟県柏崎市

目　　次

第１　地域高年齢者就業機会確保計画
１　地域高年齢者就業機会確保計画の区域　・・1
２　重点的に高年齢者の就業の機会の確保を図る業種　・・・1
（１）計画区域での重点業種の設定と理由
（２）高年齢者の雇用動向と今後の見通し
（３）課題
３　国が実施する高年齢者の雇用に資する事業（提案）　・・・3
(1) 事業内容（支援対象者、実施時期・期間、実施機関　等）
４　計画期間　・・・5
５　計画区域における高年齢者の雇用・就業機会の確保の目標・5
（１）アウトプット指標
（２）アウトカム指標
６　柏崎市が実施している高年齢者の
就業の機会の確保に資する事業　・・・6

第２　本計画の協議先となる協議会
１　協議会の名称及び構成員　・・・7
（１）名称
（２）構成員
２　協議会の構成員が実施している高年齢者の
就業の機会の確保に資する事業　・・・7
３　協議会の活動内容　・・・8

第１　地域高年齢者就業機会確保計画

１　地域高年齢者就業機会確保計画の区域

新潟県柏崎市

２　重点的に高年齢者の就業の機会の確保を図る業種

（１）計画区域での重点業種の設定と理由

①医療・福祉（介護分野）

・高齢者が安心して暮らせる環境を充実させる

②医療・福祉（子育て分野）

・安心して子育てができる環境を充実させる

③製造業

・『豊かな』産業を活かし稼ぐ力をはぐくむ

④農福連携

・農業の持続性を高める

・生きにくさを抱えている人たちが自分らしく暮らせる環境を充実させる

（２）高年齢者の雇用動向と今後の見通し

①医療・福祉（介護分野）

・就職者数…４，６４５人（平成２８年）

柏崎圏内では介護分野に従事する人材が慢性的に不足しており、現場に大きな影響が出ています。専門資格の保有者や医療福祉系の大学・専門学校からの求職者が少なく、人材の確保が難しい状況です。また、資格取得や就職支援メニューを用意しても、利用者が少なく、人材の不足が補い切れていません。

そこで、仕事の切り出しを提案し、有資格者ではない方も出来る仕事を「多様な働き方を希望」するシニアや女性たちに繋げ、人材の不足を補い、生産性を向上させることを目指します。

②医療・福祉（子育て分野）

・就職者数…７３２人（平成２８年）

近年、核家族化や夫婦共働きの世帯の増加、さらには児童を狙った凶悪な犯罪の増加等、様々な状況から、児童クラブの登録者数は増加傾向にあ

ります。そのため、柏崎市内に２３ヵ所ある児童クラブはほとんどが定員いっぱいとなっています。

児童クラブに配置されている指導員は市から運営の委託を受けた社会福祉協議会が求人を出して雇っています。しかし、専門性や就業の条件等が合わず、人材の確保に苦慮している状況です。

柏崎地域には子育て経験の豊富な女性を中心としたシニアが多く存在しています。養成研修などを受講した補助員の方たちに対し、本事業におけるプラットフォーム機能を活用して活躍できる場所に繋ぐことが可能と考えております。

③製造業

・就職者数…９，５１１人（平成２７年）

柏崎地域には中小の「製造業」が多く存在しています。製造業就業者は全就業者の約２３％と最も多く、本地域就業人口の中心的存在となっています。

しかしながら若年層での労働希望者が激減しており、慢性的な労働力不足になっています。

人材不足で悩む企業に仕事の切り出しやワークシェアなど多様な働き方、活躍の仕方を提案し、シニア活用を支援する仕組みづくりを構築していきます。

④農福連携

・就職者数（農業）…１，９３７人（平成２７年）

生きにくさを抱えた人たち（障がいを持った方、保護観察下にある方、５０８０問題を抱えた方等）が社会参加や社会復帰できるような「農福連携」に、元気なシニアが参画することで強力な後押しが出来ることになります。また、IT を活用したスマート農業への移行も検討しています。

さらに農場、加工場、直売所などと連動した６次化を進めることで、それぞれの場所で就業やボランティアなどの活躍の場を提供できると考えております。

（3）課題

①医療・福祉（介護分野）

・専門資格や知識が無くても出来る仕事の切り出し、確保

・多様な働き方を希望するシニアや女性への雇用機会確保

②医療・福祉（子育て分野）

・補助員の養成研修によるスキルの取得

・本事業におけるプラットフォーム機能を活用して活躍できる場の提供

③製造業

・仕事の切り出しによる新しい働き方、ワークシェアの提案

・多様な働き方、活躍の仕方を希望するシニアの活用を支援する仕組みの構築

④農福連携

・農福連携とシニア参画による雇用機会確保

・６次化推進による雇用、活躍機会確保

・IT を活用したスマート農業への移行

3　国が実施する高年齢者の雇用に資する事業（提案）

（1）事業実施体制

事業内容

本事業の拠点を公益社団法人柏崎市シルバー人材センターに置き、事業統括員、事業推進者を配置。また社会経験豊富な支援員を配置し、支援対象者への相談や就業支援、企業等との相談にも対応します。

（2）地域連携ネットワーク

事業内容

協議会の各団体や企業、既存の民間公共を超えた幅広い事業体と連携。コロナ禍に負けない新しいスタイルでの起業・就職・就業（請負・委任・派遣）・有償、無償のボランティアなど多様な活躍の場の掘り起こし、開拓、支援体制を作り、各職業紹介機関へしっかり繋ぎます。

（3）相談窓口の設置（プラットフォーム）

事業内容

たらい回しにしないワンストップでの窓口を開設し、本事業のプラットフォームとして機能させます。

相談窓口にカフェを設置し、誰でも気軽に相談できる環境を整備。事業に関わる高齢者の確保と各職業紹介機関への繋ぎを一体的に展開します。

（4）IT リテラシーの向上

事業内容

研修や企業訪問、説明会などの開催は IT、ICT の活用により、リアルとバーチャルの融合型で行える体制を作ります。

また、情報端末を使いこなし、積極的な参加を促すための基本操作や、理解を深めるための「入り口研修」に重きを置き、支援を希望するすべての人が IT を使いこなしながら、必要な情報を取り出し、自らのスキルを上げ、望む結果に繋がる仕組みを作ります。

（5）シニアのやりたいこと・できること探し

事業内容

シニアの「挑戦したい」気持ちに寄り添い、活躍できる場所を探す手助けをします。そしてスキルアップのための「研修・講習」「ワークショップ」など、背中を押してあげられる体制作りに努めます。

（6）ジョブセレクトアプリの開発と e ラーニング機能

事業内容

コロナ禍を意識し、少人数、または家庭で参加できる IT 活用の仕組みを構築します。質問に答える形で自分に合った就業形態や活躍できる場を探すことが出来る、また人材を探している企業や団体の担当者が仕事の切り出しを行う際の支援が出来るツールとして「ジョブセレクトアプリ」を協議会で共同開発します。

講習や研修を繰り返し受講できるよう、スマートフォンやタブレットを用いて繰り返し視聴できる「e ラーニング」の仕組みも構築します。

（7）成果指標と満足度調査

事業内容

年度ごとの成果指標（アウトプット、アウトカム）を設定し、年度毎に精査。また、支援を希望する方や企業団体に対し「アンケート調査」を毎年度実施し、本事業での成果や満足度を集計。

集計したデータを基に年度毎の計画を見直し、ブラッシュアップしながら、本事業の成果が右肩上がりを維持できるよう努めていきます。

（8）本事業終了後の継続できるスキーム

事業内容

本事業終了後、継続して支援し続けることが出来るよう、スキームを３年間のうちに仕上げていきます。また、協議会も継続できるよう、体制を固めていきたいと考えております。

4　計画期間

令和３年６月１日～令和６年３月 31 日

5　計画区域における高年齢者の雇用・就業の機会の確保の目標

（1）アウトプット

各種施策	R3	R4	R5
生涯現役促進地域連携フォーラム シニア向け企業紹介イベント　参加者数	50 人	80 人	80 人
相談窓口（カフェ）来場者数	80 人	100 人	120 人
初めてのスマホ・タブレット教室 スマホ・タブレット教室　参加者数	100 人	100 人	100 人
Zoom 初心者講習会 Zoom 講習会　参加者数	100 人	100 人	100 人
スマホ・タブレット使いこなしワークショップ ジョブセレクトアプリ・ｅラーニング活用ワークショップ　参加者数	30 人	30 人	30 人
支援員等による企業訪問件数 （オンラインでのミーティングも含む）	50 社	60 社	70 社
ジョブセレクトアプリ利用登録者数		100 人	120 人

（2）アウトカム指標

各種施策		R3	R4	R5
本事業を利用した高年齢求職者の雇用・就業者数	(ⅰ)週の所定労働時間20時間以上、雇用保険適用対象雇用者	8人	10人	12人
	(ⅱ)週の所定労働時間20時間未満、シルバー人材センターでの就業者、有償ボランティア	34人	50人	58人
	(ⅲ)無償ボランティア	18人	20人	30人
	計	60人	80人	100人
本事業を利用した高年齢者及び企業・団体の満足度		90%	90%	90%
本事業を利用して求職活動を開始した人の数（マッチング関係機関へ移行した人の数）		20人	20人	20人
本事業を利用した企業・団体の求人活動への移行数（仕事の切り出しも含む）		40社	50社	60社

6　柏崎市が実施している高年齢者の就業の機会の確保に資する事業

柏崎市内における高年齢者の就業機会確保に資する事業は主に柏崎市シルバー人材センターが担っております。

柏崎市シルバー人材センターの入会数は年々増加しており（資料１）、令和２年３月末の入会率が３．９％と全国平均の１．６％を大きく上回っています。また、男女比も男５５：女４５と全国平均の男７０：女３０と比較すると女性の活躍が目立っております。

事業内容の詳細は「第２　本計画の協議先となる協議会」の「２　協議会の構成員が実施している高齢者の就業の機会の確保に資する事業」に記載

（単位：人・件・千円）

区分＼年度		平成２７ (2015)年度	平成２８ (2016)年度	平成２９ (2017)年度	平成３０ (2018)年度	令和元年 (2019)年度
会員数		1,166	1,203	1,223	1,278	1,313
受注件数		9,591	8,991	9,173	9,354	8,807
就業延べ人員		97,161	84,557	85,873	84,510	82,039
受注金額		405,996	374,303	378,312	374,776	375,527
	うち、公共分	82,383	83,107	86,485	88,908	91,309

（資料１）柏崎市シルバー人材センター

第２　本計画の協議先となる協議会

１　協議会の名称及び構成員

（１）協議会の名称

柏崎地域シニア活躍支援協議会

（２）協議会の構成員

・柏崎市　介護高齢課　課長　土田　正秀

・ＮＰＯ法人　柏崎まちづくりネットあいさ　理事長　水戸部　智

・社会福祉法人　ロングラン　理事長　西川　紀子

・特定非営利活動法人　地域活動サポートセンター柏崎

事務局長　押見　敏明

・株式会社　ＴＥＬＥＰＡＲＫ　代表取締役　吉田 忠廣

・合同会社　ノンビンビーン　代表　星野 智久

・公益社団法人　柏崎市シルバー人材センター　理事長　小林 和徳

２　協議会の構成員が実施している高年齢者の就業の機会の確保に資する事業

公益社団法人　柏崎市シルバー人材センター

①介護保険事業

・指定訪問介護事業、介護予防訪問介護相当サービスの事業、柏崎市訪問型サービスＡの事業を展開。

・訪問介護では市内２番目の事業所。
・会員ヘルパー１００人、サービス提供者３名によって事業展開。
②シルバーふれあいサロンやまゆり
・１５０名の会員ボランティアによる運営
・会員の朝採り野菜や手芸品の販売、フリーマーケットによる運営
③みんなの農場
・野菜作りのスキルアップを目的とした体験型農場
・「ワークプラザ柏崎」ロビーにてみんなの農場で採れた野菜を販売
・農福連携よる６次化産業を目指し、商品開発販路を模索検討中
④買い物支援事業
・買い物代行費用ワンコインの有料ボランティア。会員による買い物代行。注文受けから品物選び、お届けまで一貫したサービス。
・市・バス会社とタイアップした買い物支援バスを運行。
（令和３年４月より乗り合いタクシーによる買い物支援事業がスタート。）
・「買い物ねっとお助け隊」によるネットスーパー注文代行サービス。会員が利用登録から商品選択、発注までの作業をお客様のご自宅で一緒に行います。
⑤高齢者生活支援事業
・高齢独居、生活弱者世帯に対し、ゴミ出しや除雪などの生活を援助
⑥除草・庭木作業
・積算基準による完全請負化へ移行
・作業量に応じて基準表に基づく見積・請求へ移行
⑦シルバーイーツ
・新型コロナウイルスの対策としてスタート。
・テイクアウト商品を店舗に取りに行き、お客様にお届けするサービス。
⑧空き家サポート事業（柏崎市と連携）
・屋外から破損、屋外水栓通水、雑草の繁茂の状態や庭木の状態、郵便受け内等確認。

・確認内容を報告書としてお客様に郵送。

⑨お墓清掃・お参りサービス

・遠方にいてお墓の清掃やお参りが出来ない方に代わって、お墓の清掃等を行うサービス。

3　協議会の活動内容

別添「協議会規約」の通り